

令和5年度事業報告について

I 事業の取組方針

新型コロナウイルス感染症の拡大（以下「感染症」という）の影響により急激に落ち込んだ青森県産品の販売を一日も早く回復できるよう、県、市町村、関係機関、事業者との連携を一層強化して事業を展開してゆく。特にアフターコロナ、ウィズコロナにも対応すべく、まずは協会の最重点事業である物産展の強化（新規出店者開拓、商品開発等）収益事業の柱である旬味市については幅広いお客様のニーズに対応する商品企画や新規素材の開発、ふるさと納税については新規商品開発に取り組む。

さらには3年度に開始したオンラインショップ等新たに始めた事業も強化してゆく。

1 収益増加対策の強化

収支均衡に向けて、旬味市の売上拡大、量販店・飲食店・業務卸売会社・ふるさと納税等の卸売拡大、物産観光展やイベント等への積極的な参画などにより収益増加に取り組む。

2 アフターコロナ、ウィズコロナへの対応の強化

アフターコロナ、ウィズコロナへ対応すべく感染症対策を徹底しての物産展、各種イベントへの対応、関係事業者と連携したオンラインショップ、新聞チラシによる販売、オンライン商談会の開催等を展開していく。

3 会員支援の強化

これまで実施している物産展手数料を会員と非会員で差別化、青森県薬剤師会 食と水の検査センター検査料の優遇に加えて、県・国の支援事業や関係機関、事業者が実施する事業をきめ細かに情報発信していく。

さらに会員の販売拡大のために新たな販路開拓、良質で安価な原材料ルートの確保、輸送料等の減額のための物流事業者等とのマッチングなど会員の支援を一層強化していく。

II 公益目的事業

1 県産品振興事業

本県の豊かな農林水産物やその加工品、青森ならではの食文化、伝統工芸品等の販売、情報発信、新規販路開拓支援及び事業者育成を県内外において実施した。

(1) 県産品宣伝・販売促進事業（継続）

① 百貨店等における物産観光展

本県の優良産品や観光PR及び県産品の販路拡大を図るため、全国の百貨店等において物産展を開催するとともに、新規出店事業者の発掘や企画商品の強化を行った。

ア 県展（一部団体受託）

「第25回 青森県の物産と観光展」岡山高島屋（継続）

本物産展の25回目記念として、ミスりんごの表敬訪問を初め、毎年恒例のお買い物抽選会も期間と景品数を増やし集客へと繋げた。最終日を祝日まで伸ばしたことで売上高43,933千円、前年比118.2%と好調であった、また5社の新規出店があり更に青森県の魅力をPRする事ができた。

会 期	令和6年3月13日(水)～20日(水・祝) 8日間 午前10時～午後7時まで 最終日午後4時閉場
会 場	岡山高島屋 8階催会場/屋上イートイン
主 催	青森県物産観光振興対策協議会
出店内容	37社【食品31社、工芸6社】 イートイン(2社) みそカレー牛乳ラーメン、大間まぐろ握り・井菓 菓子(5社) アップルパイ、和洋菓子等 農産・農産加工品(14社) りんご、りんご加工品(ジュース・酢)、黒にんにく、漬物、ヨーグルト、お茶、パン、シードル等 水産・水産加工品(5社) 十三湖産しじみ、ほたて、するめ、サーモン等 惣 菜(2社) かまぼこ、しおてば 米 飯(2社) 海鮮弁当、鯖棒すし ア ン テ ナ(1社) 青森県産品アンテナショップ 工 芸(6社) 津軽塗、下駄、青森ひば製品、錦石、こぎん刺し、烏城焼
イベント企画等	① ミスりんごあおもりによる報道各社への事前表敬訪問 ② ミスりんごあおもりによる初日の粗品配布 ③ 観光コーナーの設置やポスターなどの展示 ④ 金魚ねぶたや提灯などの装飾 ⑤ 会場内でのお買い上げ抽選会の実施 ⑥ 25回記念「お楽しみ袋」の販売 ⑦ 外商顧客向けのチラシによる青森県産品企画販売
売上高	43,933千円(税込) 前年比118.2% ※外商企画等販売売上含む



会場の様子

イ 全国展、東北展等（一部団体受託）

東北物産展を主体に企画展及び地下催事等への出店支援を青森県物産観光振興対策協議会と連携して行い、県産品の販売拡大と観光PRを図った。

上期においては百貨店による催事計画の見直しなどにより当初の計画から10本の催事が中止となったが、下期は新規や復活催事が10本増えたことにより売上高291,103千円、前年比109.2%と好調に推移した。

(出店数：()は工芸)

エリア	開催数	主な会場	延べ出店数
主要	1	岡山高島屋	37 (6)
北海道	5	札幌東急	19
関東	27	日本橋高島屋、横浜高島屋、玉川高島屋、池袋東武、東武宇都宮、京急 他	89 (8)
中部	9	ジェイアール名古屋高島屋、松坂屋静岡店、トヨタ生協 他	33 (4)
近畿	4	あべのハルカス近鉄本店、京都高島屋 他	28 (3)
北陸	1	大和香林坊店	2
中四国	2	いよてつ高島屋、福屋八丁堀本店	6 (1)
九州	7	鹿児島山形屋、熊本鶴屋、大分トキハ、小倉井筒屋	46 (2)
オンライン	3	高島屋、小田急、伊勢丹	-
合計	59	合計売上高 291,103 千円 (前年比 109.2%)	260 (24)



あべのハルカス



京急百貨店

② 県内外イベント

県内イベントでは青森ねぶた祭が通常開催となったことで多くの観光客が訪れ、連日の賑わいにより飛躍的に売り上げが増加。また RAB まつりも復活開催し地元の大型イベントがコロナ前の状態に戻った。県外イベントでは JR 東日本が開催する駅構内でのイベント本数が減少したが、全体では売上高 49,387 千円、前年比 111.5%の増加となった。

No	地域	名称	場所	期間	出店数
1	県内	店頭催事	ラビナ北口風除室	4～3月	延6
2		青森の夏！ねぶた物産市	アスパム	8/1～7	23
3		対面販売	JR 新青森駅構内	4～3月	延9
4		いいもの発見 青森県	さくら野百貨店 青森本店	6/17～18	6
5		2023 RAB まつり※	青い海公園	9/9～10	10
6		第14回津軽海峡圏「大農林水産祭」	青森産業会館	11/11～12	80
7	県外	青函フェア	仙台藤崎特設会場	4/14～19	4
8		あおもり・いわて産直市	JR 大宮駅西口	5/16～21	7
9		あおもり・いわて産直市	JR 大宮駅西口	10/18～22	8



青森の夏！ねぶた物産市



あおもり・いわて産直市

③ 県産品PR活動（県外プロモーター）

ア 「太宰府天満宮・青森県フェア 2023」

- ・開催時期：令和5年11月4日(土)～5日(日)
- ・開催場所：太宰府天満宮（福岡県太宰府市）
- ・主な取扱品目：りんごジュース、りんご菓子、南部せんべい等

イ 2023 青森人の祭典 in 上野公園

- ・開催時期：令和5年11月11日(土)～12日(日)
- ・開催場所：上野恩賜公園 噴水広場（東京都台東区）
- ・主な取扱品目：りんごジュース、ほたて加工品、りんご菓子、にんにく加工品、ご当地グルメ等

(2) 新規取引先拡大推進事業（継続）

① 商談機会の創出

「青森の正直」商談会

県、金融機関、関連団体等とともに「青森の正直」商談会実行委員会を組織し、県産農林水産物や加工品を県内外へ販路拡大するWEB商談会を開催した。

- ・開催時期：令和5年7月25日（火）～27日（木）3日間
- ・開催場所：東奥日報新町ビル2階 コワーキングスペース SevenC's
- ・内 容：Teams（オンライン）を活用した、県内事業者と県外バイヤーのWEB商談会
- ・全商談数：106件（事業者数35社、バイヤー15社）

② 「FOOD MATCH AOMORI 2024」あおもり食品展（青森県物産観光振興対策協議会事業）

青森県商工会連合会、青森県商工労働部との連携により県内外の販路開拓を目的とする「FOOD MATCH AOMORI 2024」あおもり食品展を開催した。

- ・開催時期：令和6年1月30日（火）
- ・開催場所：ホテル青森3階 孔雀の間
- ・内 容：出展事業者56社、来場者数151社（314名）



会場の様子

③ 新規取引先拡大に向けた相談対応による事業者支援

新たな販路確保や県産原材料調達に意欲的な事業者への相談対応・助言等によるマッチング支援等を推進した。

相談対応件数 144件

【内訳】販路開拓 52件、産地直売施設 18件、原材料調達先 24件、ふるさと納税 10件、その他 40件

(3) 事業者育成支援事業（継続）

① 特産品コンクール事業

感染症対策を講じながら、県内の優れた特産品を表彰するコンクールを開催した。また、受賞商品を広くPRすることで、更なる県内事業者の意欲向上と商品力のレベルアップを図った。

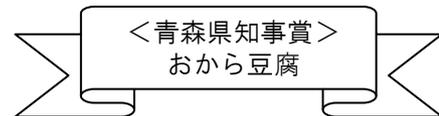
- ・開催時期：令和5年7月25日（木）
- ・開催場所：青森商工会議所会館7階研修室

【審査結果】

受賞名	商品名 (名称)	社名【市町村】
青森県知事賞 (1点)	おから豆腐 (充填絹ごし豆腐)	福士豆腐店 【五所川原市】
青森県農林水産部長賞 (2点)	青森ホタテで缶パイ4種 (ほたて加工品)	株式会社エイ・ワンド 【青森市】
	赤かぶと菊芋漬 (酢漬け)	株式会社北都 【青森市】
(公社)青森県物産振興 協会会長賞(3点)	熟成ひらめ生ハム (ひらめ生ハム)	海鮮屋いがったらかれい馬渡商店 【八戸市】
	雪中果 (菓子)	合名会社菓子処丸美屋 【八戸市】
	りんごの国の 十和田タルトタタン (生菓子)	株式会社大竹菓子舗 【十和田市】

ア 表彰式

- ・開催時期：令和5年9月14日(木)
- ・開催場所：青森商工会議所会館7階研修室
- ・参加者：受賞者、報道機関、県等



イ 販売会

青森県と連携し、受賞商品の周知・販路拡大を目的とし、販売会を実施した。

- ・開催時期：令和5年10月7日(土)～10日(火)
- ・開催場所：イオン青森店

福岡県にある青森県アンテナショップ「みちのく夢プラザ」において、今年度の受賞商品及び歴代の受賞商品を集め「青森県特産品コンクールフェア」を開催した。

ウ 「令和5年度優良ふるさと食品中央コンクール」への推薦

青森県知事賞受賞「おから豆腐」を青森県へ推薦し、県から「優良ふるさと食品中央コンクール」への推薦申請を行った。

【推薦結果】

表彰部門	受賞名	受賞商品	受賞者
新製品開発部門	農林水産大臣賞 (最高賞)	おから豆腐	福士豆腐店

エ 受賞商品の展示

青森県農林水産部長室にある展示棚に今年度受賞した商品を展示した。

② 若手事業者等の育成支援

チャレンジマルシェの実施

県内若手事業者や創業・起業者等の販売力と経営力の向上を図るため、自ら生産・製造した商品を対面により販売する機会を創出し、事業者育成を図るため実施した。

- ・開催時期：1回目 令和5年9月6日（水）～12日（火）7日間
2回目 令和5年12月9（土）～10（日）2日間
- ・開催場所：JR新青森駅1階 旬味館内「あずまし広場」
- ・出店者数：合計4社
- ・販売商品：津軽塗・漆塗のアクセサリや生活工芸品、耐熱ガラスのアクセサリや小物、機能性表示食品、果汁、飴
- ・販売実績：合計808千円



チャレンジマルシェの様子

（4）産直施設活性化推進事業（県受託事業・継続） 受託額473千円

産地直売施設の経営力強化を図るため、季節によっては品揃えが不十分となる時期に商品の充実と安定供給に向けて商品交流を推進した。

① 商品交流の実施

ア 産地直売施設間の商品交流情報交換会

- ・開催時期：令和5年7月11日（火）
- ・開催場所：青森商工会議所会館
- ・参集者：県総合販売戦略課、県地域各県民局地域農林水産部、十和田市、三沢市、五戸町、津軽藩ねぷた村、道の駅いかりがせき 他
- ・議題：これまでの取組状況
今年度の商品交流について
日興運輸株式会社による輸送体系

イ ぶつきょう寺子屋での実施事例紹介（事業者育成支援事業）

- ・開催時期：令和5年10月27日（金）
- ・開催場所：青森商工会議所会館スタートアップセンター
- ・事例発表者：道の駅いかりがせき 駅長 明石友宏 氏



会場の様子

ウ 商品交流販売会

- ・商品販売 13 施設、 商品交流 18 施設
- ・主な交流施設及び商品

○道の駅とわだ 産直とわだ (十和田市)	
〔提供元〕 主な販売商品	〔津軽藩ねふた村〕 清水森ナンバ加工品 〔道の駅もりたおらほのめへ〕 メロン・すいか 〔道の駅いかりがせき〕 ねまがりたけ水煮
○六旬館 (六ヶ所村)	
〔提供元〕 主な販売商品	〔津軽藩ねふた村〕 清水森ナンバ加工品
○津軽藩ねふた村 (弘前市)	
〔提供元〕 主な販売商品	〔道の駅十三湖高原〕 しじみ
○道の駅いかりがせき (平川市)	
〔提供元〕 主な販売商品	〔津軽藩ねふた村〕 清水森ナンバ加工品 〔六旬館〕 冷凍ひらめ、たこつくね、ごぼうチップス 〔田子ファーマーズマーケット〕 にんにく加工品各種 〔ふじさき食彩テラス〕 アスパラガス
○道の駅もりたおらほのめへ (つがる市)	
〔提供元〕 主な販売商品	〔むらおこし拠点館フラット〕 ごぼう麺
○田子ファーマーズマーケット (田子町)	
〔提供元〕 主な販売商品	〔道の駅いかりがせき〕 自然薯パウンドケーキ、自然薯そば、自然薯餃子、マルメロパイ、マルメロゼリー、マルメロ羊羹

Ⅲ 収益事業

1 県産品販売推進事業

(1) 旬味市管理運営事業（継続）

「青森県おでかけキャンペーン」が7月下旬まで延長したことや8月の青森ねぶた祭を始めとする県内各所の祭りの通常開催、お盆期間の帰省客の増加に加え、新型コロナに対する制限の緩和や円安の影響からインバウンドの来青が続いたことにより、順調に売上を確保した。また、コロナ前の平成31年度売上高と比べても116.4%と好調であり売上高172,717千円、前年比139.2%の増加となった。



旬味市の様子

(2) 県産品販売拡大事業

① 県産品の卸売販売（継続）

ア 海外商品卸

国内商社（2社）に対して県産品の卸売販売を行った。

シンガポールの取引先において、りんごジュースの取り扱い方針を変更したことにより継続取引ができなくなったことで大きく減収となった。

イ 国内商品卸

県産品の販路拡大を図るため、国内における卸売販売の強化に取り組んだ。既存の納品先に対して新規の商品提案を行ったことで売上高28,804千円、前年比104.4%の増加となった。

② ふるさと納税制度による返礼品の発送（県受託事業・継続）

あおりふるさと寄付金に係るPR（県産品発送）業務を県から受託した。

例年では年末に寄付が集中するが、令和5年10月の制度改正に伴い、寄付が10月に集中したことにより、反動で年末の寄付が減少したことと制度改正の影響もあり3,137件の発送で売上高13,930千円、前年比84.1%の減少となった。

③ 催事精算業務サービス（継続）

県内の一般消費者等に対する県産品の認知度向上、地産地消の推進を図るため、県内大手量販店等が実施する「地産地消フェア」や県外百貨店等での催事売上金の精算業務により、売上高60,556千円（県内量販店等23,937千円、県外催事36,619千円）前年比105.8%となった、特に県内量販店等の売上が前年比125%と増加した。

(3) 物品販売事業

① 青森の正直シール販売事業（継続）

安心・安全な青森県産品をアピールする「青森の正直シール」を販売した。

■販売実績

区分	シール単価 (円・税込)	販売枚数 (枚)	販売金額 (円・税込)	利用者実績 (のべ)
青森の正直シール	0.5	20,000	10,000	1社
前年比			33.3%	



② 青森県特別栽培農産物認証票シール販売事業（継続）

安心・安全な県産農林水産物の生産・販売を促進するため、青森県からの指定を受け「青森県特別栽培農産物認証票シール」を販売した。

今年度から印刷経費や資材の高騰によりシール単価を一律値上げすることとした。

■販売実績

区分	シート単価 (円・税込)	販売枚数 (シート)	販売金額 (円・税込)	利用者実績 (のべ)
大 10枚	32	3,245	103,840	68 農業者・団体
中 20枚	32	7,185	229,920	
小 50枚	32	26,529	848,928	
合計		36,959	1,182,688	
前年比			74.6%	



③ 「決め手くん」LINEスタンプ販売（県受託事業・継続）

青森県産品の認知度向上を図るため、県産品PRキャラクター「決め手くん」LINEスタンプの販売を県から受託し、売上高1千円となった。

IV 会員サービス

会員加入メリットの向上を目指し、会員サービスの充実を図った。

1 情報発信

協会及び連携機関の各種事業等に関する情報について、登録会員 206 事業者へ定期的にメール配信を行った。

2 他団体との連携

(1) 一般財団法人青森県薬剤師会 食と水の検査センター

会員メリットの向上を図るため、同センターの協力により各種検査料金に協会会員価格を設定した。のべ31事業者が利用し支援の効果が図られた。

(2) 北方商事株式会社

会員メリットの向上を図るため、同社の協力により損害保険に関する支援策を設定した。

V 会議

1 総会

令和5年6月30日（金）

2 理事会

第1回 令和5年5月25日（木）

第2回 令和5年11月16日（木）

第3回 令和6年3月8日（金）

3 監査

第1回 令和5年5月18日（木）

第2回 令和5年11月9日（木）

4 青森県物産観光振興対策協議会総会

令和5年5月25日（木）（書面）

VI 関係機関との連携

No.	機関名	委嘱役名	就任者
1	青森県「農林水産力」強化本部	委員	会長
2	青森県観光戦略推進本部	構成員	〃
3	青森県農林水産物輸出促進協議会	監事	〃
4	青森県物産株式会社	監査役	〃
5	株式会社あおもり北彩館	代表取締役	〃
6	公益社団法人青森県観光国際交流機構	理事	〃
7	（青森県観光戦略推進本部） 国際戦略プロジェクト推進委員会	委員	専務理事
8	青森県食品衛生監視指導計画に関する検討委員会	委員	〃
9	青森県伝統工芸指定審査会	委員	〃
10	株式会社あおもり北彩館	取締役	〃
11	（青森県「農林水産力」強化本部） 総合販売戦略推進委員会	オブザーバー	〃
12	青森県食育推進会議	協力団体	—
13	青森県 HACCP 推進連絡会議	構成員	—

